

胃がん検診における市町への指導について
(案)

協議事項	1	提案	事務局
提案事項及び提案理由			
1 胃がん検診の精検受診率（40歳～74歳）に関する市町への指導について			
県内の状況			
精検受診率について			
1) 平成 28 年度各市町の状況：許容値（70%以上）未満（21 市町中：1 市町）			
市 町	集団検診	個別検診	合 計
時津町	94.4	62.5	84.6
1 市町	0 市町	1 市町	0 市町
地域保健・健康増進報告			
H28 年度からがん検診指針の改正により胃内視鏡による実施が認められ、 検診間隔は 2 年に 1 回、対象年齢は 50 歳以上へ変更になった。			
参考:目標値 90%以上の市町は、21 市町中 10 市町が該当(詳細は資料 2 21～31 ページ参照)			
2) 平成 27 年度各市町の状況：許容値（70%以上）未満（21 市町中：5 市町）			
市 町	集団検診	個別検診	合 計
長崎市	97.8	57.7	83.3
壱岐市	93.8	50.0	81.8
長与町	93.8	65.9	73.7
小値賀町	0.0	-	0.0
新上五島町	65.2	-	65.2
5 市町	2 市町	3 市町	2 市町
地域保健・健康増進報告			
H27 年度までがん検診指針による胃がん検診は胃部 X 線（40 歳以上、年 1 回）			
参考:目標値 90%未満の市町は、21 市町中 13 市町が該当			
・平成 27 年度、平成 28 年度 2 年連続して許容値未満の市町は、なし。			

